

「しゅろの木の枝を取って、出迎えのために出て行った。そして大声で叫んだ。『ホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られる方に。イスラエルの王に。』」ヨハネ 12:13

イエス様がエルサレムに入城された時、人々は棕櫚の葉を手にとり、あるいは敷き詰めて、イエス様を歓迎しました。その棕櫚の葉、英語ではPalm、これはナツメヤシの葉のことです。ですから最新の日本語聖書訳である新改訳 2017 や新共同訳では「なつめ椰子」と訳されています。私は昔ながらの人間ですので、どうも「棕櫚」という訳のほうがしっくりくるのですが、実際にはナツメヤシと訳するほうが良いのかも知れません。

イスラエルに行きますと、スーパーマーケットでも屋台でもお土産屋でも、どこでもナツメヤシの実が売っています。そしてそれは、当地でも実はどこでも買うことが出来るのですが、ご存じでしょうか。そう、デーツ/Date がそれです。デーツはイスラエルの特産品ですが、当地カリフォルニアの特産品でもあるのです。日本ではあまり見かけることのないデーツですが、当地ではどこでも売っているので、機会があれば一回は食してみたいかならうでしょう。

この棕櫚の葉に歓迎され、イエス様は十字架にかかれるため、エルサレムに入城されました。そのことを記念する日、それがこの聖日、パームサンデーです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体よみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021 年 3 月 28 日



Orange 郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ 2 : 15

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈祷会 : (水) 18:30-

